

医学研究センター

フェロシップ部門

丸山 敬
(部門長)

1. 部門概観

<部門員構成>

- 部門長 丸山 敬： 薬理学(教授)
副部門長 森 茂久： 医学教育センター, 総合医療センター血液内科(兼担), 大学病院血液内科(兼担) (教授)
部門員 別所正美： 学長/医学部長
齋藤一之： 法医学(客員教授)
片桐岳信： ゲノム医学研究センター病態生理部門(教授)
名越澄子： 総合医療センター消化器・肝臓内科(教授)
木村文字： 国際医療センター画像診断科(教授)

<活動目的>

研究科委員会や医学教育センター大学院教育部門との連携のもとに、常勤教員以外の研究者(非常勤研究者)の経済的・身分的支援を目的とする。

<業務>

1. 奨学生の選考
2. 非常勤研究員の審査・登録
3. 非常勤研究員の身分証明
4. 専攻生授業料免除の審査
5. 各種非常勤研究員の身分的位置づけおよびその他の支援体制の確立
6. 上記と関連して規定集(専攻生, 協力研究員, 特別協力研究員, 特任研究員)の確認
7. 研究支援制度に関する議論と提案

2. 平成24年度の活動

- 従来の奨学金制度は博士研究員のみならず, 研修医や大学院生(博士/修士)を包括的に支援する制度へと発展することが議論されている。そのため, 平成24年度は移行期として, 実質的な支援活動は休止となった。新制度に関する議論を行った。
- 平成25年3月の医学研究科委員会にて, 平成25年4月に入学する外国人大学院生への支援の要望があった。そのため, 新制度が稼働するまで, 暫定的に従来の「私費外国人留学生等奨学生」の再開が検討された。1年に1回の募集を行うことを学長および医学研究センターに提案した。
- 平成25年4月より齋藤部門員は客員教授となるが, 引き続き構成員となることが研究センター運営会議で了承された。

3. 現状と今後の課題の総括

<新しい研究支援制度について>

- 平成23年度, 平成24年度の議論を踏まえて提案を行っていく。

<暫定的な支援制度について>

- 新制度が実施されるまで, 現状に即して暫定的な支援を提案していく。

<定例会議とメール会議>

- 年2回の定例会議で研究支援について自由な議論を行っていく.
- 具体的な課題についてはメール会議にて迅速に結論を答申できるようにする.

<部門構成員について>

- 新制度が確立した場合には保健医療学部から構成員を増員する.